

## 日本獣医動物行動研究会

1 研究会名：日本獣医動物行動研究会  
(Japanese Veterinary Society of Animal Behavior)

### 2 事務所所在地

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1  
東京大学・大学院農学生命科学研究  
科・獣医動物行動学研究室  
TEL・FAX 03-5841-8190  
E-mail vb@vbm.jp  
URL <http://vbm.jp/>

### 3 目的

伴侶動物の問題行動に関する情報交換と議論の場を提供することによって行動診療の発展に資することにある。同時に、われわれ動物関係者に共有の初心ともいべき「動物行動の不思議」を科学する姿勢も忘れない研究会を目指すため、具体的には以下の3点に重点を置いている。

- ①「獣医行動診療科認定医」の認定と「獣医行動診療専門医」制度発足に向けての基盤整備
- ②神経行動科学や臨床行動医学に関する最新知見の収集整理と情報交換
- ③臨床獣医師や飼い主を対象とした啓発的活動

### 4 組織

会 長：武内ゆかり  
副 会 長：尾形庭子, 佐藤昭司  
事務局長：南 佳子  
事 務 局：内田恵子, 荒田明香, 高倉はるか  
監 事：小暮規夫, 武部正美  
委 員 会：・認定医試験委員会委員長：水越美奈  
・卒後教育委員会委員長：荒田明香  
・実践教育委員会委員長：藤井仁美  
幹 事：17名  
会 員：155名 (2015年10月現在)

### 5 沿革

日本国内には、1990年以前より行動診療に関心を有する獣医師はいたが、組織的な取り組みに発展はしなかった。その後、分離不安治療補助薬が認可されたことを契機に、行動診療の社会的認知度を高揚することを目的として、2000年に有志により獣医動物行動研究会

が設立された。

以降、研究会ではメーリングリストを開き、お互いの情報交換に努めるとともに、日本獣医内科学アカデミー(JCVIM)や動物臨床医学会年次大会などにおいて教育講演を実施してきた。

2012年の総会にてメーリングリスト会員らの要望を受けて、認定医制度の準備を開始し、2013年より獣医行動診療科認定医制度を開始した。

初代研究会長：小暮規夫  
2代研究会長：森 裕司  
3代研究会長：武内ゆかり

### 6 活動内容と特色

#### (1) 活動状況

- ①総会, 研修会, 講演会, 症例検討会の開催
- ②認定医制度の運営
- ③会員向け症例メール相談の実施
- ④飼い主向け質問用紙の無料ダウンロード

#### (2) 過去の主催教育セミナー, 検討会の内容

##### ①第1回教育セミナー：

年月日：2015年5月14日

内 容：

「行動治療の進め方」 南 佳子  
「犬における問題行動と身体疾患との関連」  
水越美奈  
「犬の問題行動症例に対するMRI・脳波測定の有用性」 荒田明香  
「猫の不適切な排泄に関するガイドライン」  
藤井仁美

##### ②第1回症例検討会：

年月日：2015年10月4日実施

内 容：

「一般診療でよく相談される問題行動の対処法を検討する：吠え」 入交眞巳, 藤井仁美

#### (3) 獣医行動診療科認定医制度

獣医動物行動研究会では、「獣医動物行動学(動物行動学及び臨床行動学)に精通し、行動診療を行うために必要な専門知識と技術、十分な診療経験を有しており、獣医行動学分野における最新知識の取得に務め、行動診療を通して動物と飼い主の幸福増進に貢献するとともに、獣医動物行動学分野の発展に寄与し、わが国における同分野の啓発と普及に貢献するための努力を惜しまない獣医師」を「獣医行動診療科認定医」として認定して

いる。

なお、現時点において認定医としての任務責任対象動物は犬と猫に限るものとしていて、6人が認定されている（2015年10月現在）。

#### （4）活動への参加方法

会員限定のメーリングリストを利用して情報発信及び情報交換を実施。今後はオンラインを使った活動に重点を置き、若い世代や遠方の会員に対する活動参加を容易にする予定。

### 7 入会方法

会員資格：本研究会の活動に関心をもつ獣医師。

年会費：5,000円

会員特典：

- ①メーリングリストによる情報交換
- ②会員サイトの情報閲覧
- ③獣医行動診療科認定医試験受験資格
- ④ウェブによる症例検討会参加資格
- ⑤獣医行動診療科認定医による個別症例相談（有料）

入会方法：ホームページの会員募集より

### 8 文責者：佐藤昭司，尾形庭子